

ひらこ図書館だより

平田高等学校図書館 2024年3月 第10号

影山祥大先生から本の寄贈がありました

『ゴールデンカムイ』全31巻(野田サトル原作)



『ゴールデンカムイ』は週刊ヤングジャンプに連載されていたコミックで累計2700万部の人気作品。アニメ化、さらにこの1月、山崎賢人主演で実写版の映画が公開されたばかりです。

明治時代開拓期の北海道が舞台。作者の曾祖父がモデルの主人公(日露戦争からの帰還兵)とアイヌの少女との出会いから物語はスタートします。アイヌ文化に関しては、これまでのマンガで取り上げられることが少なかったため読者にとって新鮮だったことも大ヒットの要因のひとつと考えられています。

作者は実際に北海道で現地取材されたそうで、取材に協力してくれたアイヌの人々から「可哀想なアイヌではなく、強いアイヌ」を描くことを期待されたため、迫害や差別といった暗い背景ではなく「明るく、おもしろいアイヌ」を描くことになったと語られていました。日本史に興味がある人にもおすすめします。

また、料理に関する要素が強いことも話題になりました。このことに関しては、作品構想の初期のテーマが狩猟であったことから「獲物を生活に活かしていく中で料理描写は必然だ」と考えた作者は語っています。料理好きな人にもおすすめします。

伊藤康子校長からのコメントです

平高へ赴任されて1年となる伊藤校長。頻りに図書館へ足を運ばれています。そこで「最近おすすめだよこの1冊」というテーマでコメントをいただきました。

平高ですごした本当にたのしく、やさしくすてきだったこの1年。その日々の中でもひらこ図書館で過ごす時間はやすらぎのオアシスタイムでした。久しぶりにいろいろ本を読みました。懐かしい本も読み返しました。

久しぶりに読んだ宮部みゆき先生の作品はやはり面白く、とくに時代小説は、人間の業とやさしさと人情があふれていて「一日一善」精神がぐっと刺激されました。いろいろなシリーズがありますので、皆さんぜひ読んでみてください。…ひらこ図書館で本を手に取りひらこ！

『源氏物語』=ここを読むとおもしろい!

紫式部が主人公の大河ドラマが放送されているからなのか『源氏物語』が図書館で話題になることが増えました。平高で使用している日本史図表には「成立は1008年頃。光源氏の恋愛を中心とする44帖と源氏の子の薫大将の悲劇を描く宇治10帖からなる世界最古の長編小説」と説明があります。

今回は平高の国語の先生方から『源氏物語』はこんなふうに見えるとおもしろいよ!というアドバイスをいただきました。

藤江英昭先生

苦悩する登場人物の心に寄り添う。

きっぱりと明解なコメントですね。そして

保科綾香先生

喪失感。叶わない恋。誰にも言えないこと。寂しさ。満たされない思い。後悔。自責の念。孤独。切なさ……。

引っかけた言葉がある人は『源氏物語』を読んでみよう。(まずはマンガ『あさきゆめみし』から)

ひらこ図書館のカウンター左手には『あさきゆめみし』などの

『源氏物語』が数種類そろえてあります。現代語訳版も。

福間邦衣先生

光源氏がたくさんの女性と恋愛しまくる話…ではなく、光源氏という媒体を通して様々な女性のタイプが描かれている物語で、自分との共通点や相違点を発見して喜び—みたいな読み方が女子には結構オススメです。“因果応報”の物語です。全54帖、登場人物500名をゆうに越えるボリュームにも拘らず、キャラの書き分け、ストーリーの緻密さ、伏線回収のスッキリ感は「いとをかし」です。

先生方のコメントはそれぞれの思いが込められていますね。ありがとうございました。

♪図書委員会「ルーコラム」1年3組 図書委員

私のお薦めするのは町田そのこさんの『コンビニ兄弟』という作品です。どこにでもあるコンビニの中から物語が生まれます。お客さんたちは皆、何かに悩んでいて、ちょっとクセのある店員と一緒に解決していくお話です。

皆、悩んでいることは本当に人それぞれです。だからこそ、話を聞いてくれる場所があることの幸せと安心感が分かりました。ぜひ、読んでみてください。

♪図書委員会「ルーコラム」1年4組 図書委員

瀬尾まいこ『あと少し、もう少し』

この作品は、中学生男子6人が駅伝大会で県大会出場を目指して、襷を繋いでいく物語です。

部長の柁井は、中学最後の駅伝に向けてメンバーを募って練習を始めますが、3年生になった時、陸上部の名物顧問が異動となります。代わりにやってきたのは何やら頼りない美術教師。更にメンバーは不良の大田、頼みを断れないジロー、プライドの高い渡部、後輩の俊介等それぞれの個性が違う6人。

自分も駅伝大会に向けて練習してきた経験があるため、共感出来る場面がたくさんありました。読み始めるとどんどんページをめくってしまいます。物語のその後も気になる本です。多くの人に読んでほしいです。

図書館使い

「おはこん さんには。」

長いようで、あ、という間でしたわ。おはこんはどんな海でも遊べた
手のかかりました。一次はどんな一年にしていこうかと。

新3年生は受験で大変な時期を迎えています。

そんなときは、図書館で好きな本を読んでリフレッシュするのも
いいと思います。普段せんば、ていねい自分のコトを書き出して、
本やマンガが好きな買。てめげのモオススXで可。

< 2023年 本屋大賞 >

「女、星のこころ」 風良ゆう

— わたしは愛する男のために、人生を誤りにくい。

高校生の男女が、それぞれの孤独、欠落を抱え出会い、
惹かれ合い、可なりがいて成長していく。

生きることの自由と不自由とが描かれた。

ひとつではない愛の物語。

～ 図書館委員がオススXの本 ③③ ～

「麦本三歩の女子生活の。」 佐野よこ

- 「麦本三歩」という1人の女性の生活の軌跡のお話です。
このお話を読むと、おはこんはどのような気持ちで、ていねい登場人物、
そして何れ、三歩という人間が、とておもしろく、
面白いです。読み終えたときには、三歩のこのおはこんに
おはこんでいよう。続編を知らず、おはこんでいよう、
読んでおはこんでいよう。

「おはこんのスカートのおはこん」 今村夏子

- 近住にある「おはこんのスカートのおはこん」とおはこんでいよう
1人の女性を、主人公の「私」視点でおはこんでいよう。
よくおはこんでいようおはこんでいようおはこんでいようおはこんでいよう
お話でした。読み終えたおはこんでいようおはこんでいようおはこんでいよう
オススXです。文字も大きく読みやすいのでおはこんでいよう
読んでおはこんでいよう。

「母景」 尾崎世界観

- 小学生の「私」とマッサンが動くおはこんのおはこん。
小女目線で描かれたおはこんの秘密と世界の姿についておはこんでいよう
おはこんでいよう。尾崎世界観は「フリーウィング」というバンドのおはこんでいよう
おはこんでいよう。小説が好きなおはこんでいようおはこんでいよう、フリーウィングで
おはこんでいようおはこんでいよう。尾崎世界観の「世界観」を、おはこんでいよう
おはこんでいようおはこんでいよう。